

与えられすぎてはいないか

先週のテストウィークを何とか乗り切り、今週はその結果が返される日が続きます。 自分自身の学力における現在地をしっかりと知り、今後の進路選択の参考にしましょう。 特に中間テストについては見直しをしっかりすること。どこを間違えたのかといった細 かな分析ができる少ないチャンスです。ぜひお願いします。

自分で考えることを止めない

少し前ですが、テスト期間に1人の生徒が私のところに来て英語の質問をしました。質問について私が半分くらい説明をしたところで、その生徒は「先生、あとは自分で考えます。」といってその場を去って行きました。普段の授業でも「あまり教えすぎないようにしよう」と心がけてはいるのですが、このように個人的に質問に来られるとついつい丁寧に教えすぎてしまうのだと反省しました。

しかし、振り返ってみるとこのような生徒はこれまで多くはありませんでした。テスト 勉強と言えば、課題のワークやプリントあるいは塾で出された課題などに取り組む姿を多 く見かけます。これからの受験勉強で自分自身の学力を上げるためには、与えられたもの をただひたすら取り組むのではなく、本当に自分にとって必要なものは何かを分析し、ピ ンポイントで取り組むことも必要ではないでしょうか。

私はよく自転車に乗る練習を思い出します。最初は後ろから補助してもらいながら、だんだんスピードに乗れば、次第に手を離してもらい、あとは自分の力で前へ進む。学習も同じだと思います。分からない問題があれば先生にたずねればいい。しかしその答えまで聞いてしまうのではなく、「後は自分でやってみます」と言い切る勇気。自分で考えることを止めない。自分の力で立ち向かう。その姿勢があれば高校に行っても学力は伸びてきます。

もうすぐ新研究の提出も終わります。来年からは新研究のような毎日の課題もありません。そうなったとき日々の学習をどうやりくりしますか?毎日の学習を習慣化する、そのお手伝いを私達は1年かけてやってきました。そろそろ私達も手を離す時期。ここからは自分の力で前に進みましょう。

今週の予定

| 12月5日(火) | 新研究【英語】 | |
|-----------|---------|-------------------------------|
| 12月6日(水) | 新研究【国語】 | 学年球技大会 |
| 12月7日(木) | 新研究【社会】 | |
| 12月8日(金) | 新研究【数学】 | 成績表を担任の先生に返却しましょう。 |
| 12月11日(月) | 新研究【理科】 | 鳥取城北高等学校【専願Ⅰ・推薦】校内〆切、 学活:面接指導 |

学年の集り

昨日は学年の集いを開催しました。生徒・保護者あわせて140名以上の方に参加していただくことができました。

当日は田村彰悟君、原田芳誠君が司会をしてくれました。保護者の方には諸準備から当日の運営まで、様々な面で関わってくださいました。本当にありがとうございました。

講師は鳥取大学のキップ・ケイツ先生。長年にわたり鳥取の国際理解・国際交流に深く 関わっておられます。ケイツ先生には『グローバルエイジの言語教育:外国語と国際理解』 というテーマでお話していただきました。

ケイツ先生は「地球は1つの家」というイメージを与えてくださいました。その家には 部屋がいくつもあります。それぞれの部屋の向こうには様々な国や地域が広がっているけ れども、残念ながら鍵がかかっている。その鍵が言語。鍵(言語)さえあればドアを開け、 それぞれの国の文化を体験することができると教えてくださいました。

その中でも英語はマスターキーのようなもの。英語が持っている役割はとても大きいものです。英語はコミュニケーションツールであり、マスターキーであるからこそ多くの国のドアを開け、他国の文化や人を理解することができます。英語は自分を成長させるための大切な言語だと最後に伝えてくださいました。

最後に、参加者を代表して井上剛君が「いつか世界を自分の目で見て、自分の中のステレオタイプを崩したい」と語ってくれました。あっという間の1時間半でした。



多くの方に参加していただきました



他言語を学ぶことは難しい?深いテーマですね。



最後の井上君の挨拶も立派でした!



キップ・ケイツ先生



司会の田村君と原田君